

平成27年度 指定管理施設評価結果

施設名	こおりやま文学の森資料館
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
Ⅰ. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
Ⅱ. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
Ⅲ. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
Ⅳ. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」	評価点 (100点満点)	総合評価 (S, A, B, C, D)
A（75点～90点）「標準より良好」		
B（60点～74点）「適正（標準）」		
C（45点～59点）「要指導」		
D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」		
	85	A

H27実績			
指定管理料	69,369 千円	(前年度比)	(△ 5,597 千円)
利用者数	18,472 人	(前年度比)	(5,995 人)
事務手続き	届出・・・○	協議・・・○	報告・・・○

サービス向上対策	
内容	新規
SNSを活用する世代への周知のためフェイスブックの開設	○
郡山ゆかりの作家の文庫本を配布し、配布文庫本を活用した「読書感想文コンクール」の開催(中学生対象)	○
申し込み数の多い講座における会場及び受付人数の拡大	

評価概要
フェイスブック開設や展示内容に合わせた関連施設へのチラシ配布等、幅広い周知活動を行なうとともに、27年度は久米正雄と宮本百合子の文庫本を市内中学校へ配布し、郡山ゆかりの作家の周知を図るとともに、それを活用した読書感想文コンクールを開催するなど新たな取り組みを行なった。 文庫本の配布や読書感想文コンクールは、若い世代の文学に対する意識の醸成に繋がり、フェイスブック開設による新たな層へのアプローチやニーズのある特別企画展が利用者数の増加に繋がったものと評価できる。 今後は、特別企画展以外の期間においても、より集客が見込めるよう継続事業についても見直しを行い、事業内容の充実を図る必要がある。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	A	—	—	—